



チャイルドが暮らす地域のご紹介

World Vision

この子を救う。未来を救う。

MOG-184842

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が、子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていくことを支援するプログラムです。チャイルドが暮らす地域と、現地でワールド・ビジョンが実施している開発プログラムについてご紹介します。

国情報

モンゴル国



ユーラシア大陸に位置する内陸国で、ロシア、中国と接しています。モンゴル人は遊牧民族として有名ですが、牧畜を離れ都市や農村に定住する人々も増えてきています。国土は日本の約4倍です。人口の95%以上がモンゴル人で、モンゴル語が公用語ですが、カザフ語を使用するカザフ人も暮らしています。宗教はチベット仏教とシャーマニズムが主流です。



出典：外務省

地域情報

バヤン・ウルギー地域開発プログラム (MOG-184842)



支援期間：2006年～2022年*

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都のウランバートルから約1,700キロ西に位置するバヤン・ウルギー県で、プログラムを実施しています。同じ国でも首都ウランバートルと支援地域では1時間の時差があります。隣国のカザフスタンに近い支援地域では、モンゴル人は少数で、カザフ語を使用するカザフ人が多数を占め、ほかにトゥーバ族などの少数民族も暮らしています。宗教はイスラム教が主流です。主な産業は畜産や農業ですが、冬は家畜が死んでしまうこともあるほど寒さが厳しいため、都市へ移り住む人々も増えています。1990年代前半の市場主義経済への移行に伴って失業者が増え、貧困が深刻です。

地域の課題



支援地域の風景。冬には雪に覆われる極寒の地です



伝統的なゲル(移動式天幕住居)に住む家族。自然環境が厳しい支援地域では、遊牧生活を捨て近代的な家に定住する人々も増えています



保健衛生・栄養

衛生的なトイレを使うことができない住民の割合
約 **86%***



教育

国の平均を上回る非識字率と
学校の中退率



貧困

失業率が高く
約 **34%*** の世帯が貧困状態

*2016年時点



保健衛生・栄養

地域の医療施設は少ない上に老朽化しており、設備や医薬品、スタッフの知識や技術が不足しています。上下水道が未整備で衛生的なトイレも普及していないため、水が原因で下痢などの病気が多く発生します。また、栄養についての知識不足や貧困から、栄養状態の悪い妊産婦や子どもが大勢います。



子どもたちの栄養状態改善のため、母親たちに栄養ある食事の作り方を指導します

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 住民や医療スタッフを対象とした、健康管理や母子保健に関する研修
- 5歳未満児の定期的な身体測定と育児相談
- 栄養状態が悪い子どもに対する栄養補助剤の支給
- 安全な水の使用についての啓発と飲料水用の深井戸の建設
- 衛生的なトイレの利用など衛生状態改善のための啓発活動



教育

カザフ語を母語とする住民が多い県なので、モンゴル語との2カ国語で教育が行われていますが、県の非識字率は6.8%(2010年)、学校中退率は4.9%(2011年)と、国の平均(それぞれ4.6%、1.1%)を上回っています。校舎や備品の老朽化、教師の知識・技量不足が問題となっています。



子どもたちが継続的に質の高い教育を受けることができるよう支援します

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 教員を対象とした教授法の研修
- 子どもの読解力を伸ばすための図書室への本の提供
- 保護者を巻き込んだ学校行事の実施支援
- 障がいを持つ子どもたちへの学習やリハビリテーション支援

\$ 貧困

住民の多くは畜産や農業で生計を立てており、手工芸品製作などの小規模ビジネスを行っている人もいます。失業率が高く、若者を中心に都会への移住者が増えています。人々が安定した生計手段を得て、地域の中で暮らせるようになることが課題です。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 小規模ビジネスの始め方と運営、財務管理に関する研修
- 収入や生活基盤を脅かす災害への対策指導



地域の人々が生計手段を得られるよう支援します



支援はチャイルドの生活を変える力となります

ブレンちゃんは幼い時に先天性股関節脱臼が見つかり、あまり外に出ることができませんでした。そのせいか、ブレンちゃんは恥ずかしがり屋で口数の少ない女の子でした。

しかし、ワールド・ビジョンから松葉杖と車イスの提供を受け、徐々に外に出られるようになりました。今では10代の子どもたちの「子ども協議会」でリーダーに選ばれるほど、よく発言する積極的な若者に成長しています。

ブレンちゃんはまだまだ少し足が不自由ですが、いつかチャイルド・スポンサーが暮らす日本で勉強したいという夢を持って、熱心に勉強に取り組んでいます。

ワールド・ビジョンは、ブレンちゃんのような子どもたちが自分の可能性を見出し、将来への希望を持って成長できるよう、支援活動を行っています。